

令和3年度特別展

岐阜・鹿児島姉妹県盟約50周年記念

響きあう美濃との歴史と文化

薩摩の陶と刀

とう

とう

造奉
命於薩摩の作之
釣
享保用辰年

令和3年

7月23日(金・祝)ー9月26日(日)

9時ー16時30分(ただし7月23日(金・祝)は10時30分開館)

岐阜県博物館 本館4階 特別展示室

休館日：月曜日(8月9日、9月20日は開館)

8月10日(火)、9月21日(火)

入館料：一般600(520)円 大学生300(200)円

高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体

主催：岐阜県博物館、中日新聞社

後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

特別協力：鹿児島県歴史・美術センター黎明館

薩摩の陶と刀

響きあう美濃との歴史と文化

江戸中期、薩摩藩によって実施された木曾三川の宝暦治水工事が契機となり、昭和46年に鹿児島県と岐阜県とのあいだで姉妹県盟約が結ばれました。以後、さまざまな交流事業がおこなわれるなか、本年50周年を迎えることとなりました。このことを記念するため、岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島が誇る「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展覧会を開催いたします。

幕末から明治初期に欧米で絶賛され、工芸のジャポニズムを沸きおこした絢爛豪華な「薩摩焼」、そして波平一派に代表され、その歴史は平安時代にまでさかのぼる「薩摩刀」の魅力について、鹿児島県歴史・美術センター黎明館の所蔵品を中心として紹介していきます。



錦手牡丹文花瓶
薩摩 苗代川系 十二代沈壽官 明治時代中期
鹿児島県歴史・美術センター黎明館



錦手鹿児島八景図大皿
薩摩 堅野系 慶田政太郎 山下雪山絵付
明治31-大正2年頃
鹿児島県歴史・美術センター黎明館



白釉茶碗 銘すはま
薩摩 御判手 江戸時代初期
個人蔵 (鹿児島県歴史・美術センター黎明館保管)



刀 無銘 (号 朝鮮兼光)
備前長船兼光 南北朝時代 個人蔵 (鹿児島県歴史・美術センター黎明館保管)
※伝 島津義弘が朝鮮出兵で使用



重要文化財 太刀 銘 波平行安 (号 笹貫)
薩摩 波平行安 鎌倉時代 京都国立博物館

表
左・中: 刀 銘 (一ツ葉菱紋) 主馬首一平藤原安代 / 奉奉鈞命於薩州作之 享保甲辰年
薩摩 享保9年 鹿児島県歴史・美術センター黎明館

右: 錦手松竹梅鶴亀波文浮彫花生
薩摩 苗代川系 東郷壽勝 明治時代中期 鹿児島県歴史・美術センター黎明館

講演会

「薩摩焼について 特色とみどころ」

講師: 深港恭子

(鹿児島県歴史・美術センター黎明館 主任学芸専門員)

日時: 8月1日(日) 13:30-15:00

「岐阜と鹿児島の絆

鶴丸城御楼門復元事業」

講師: 亀山義比古 (亀山建設株式会社 会長)

日時: 8月28日(土) 13:30-15:00

「さつまの刀 波平の歴史と魅力」

講師: 切原勇人

(鹿児島県歴史・美術センター黎明館 学芸課長)

日時: 9月5日(日) 13:30-15:00

会場はいずれも岐阜県博物館 けんぱくホール

講演会は要事前申込です。

ホームページの申し込みフォームまたは

お電話 0575-28-3111

にてお申し込みください。

交通案内



□ 岐阜バス (岐阜関線、岐阜美濃線)

小屋名バス停下車徒歩約20分

※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又は

JR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。

※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停から
ご乗車ください

□ 関シティバス (わかきさ・小金田線、わかきさ・千疋線)

百年公園バス停下車徒歩300m

※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停から
ご乗車ください

□ 東海北陸自動車道 関インターから車で5分

お車で越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場(無料)を
ご利用ください。北口から博物館まで300mです。

歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れが
できますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。

※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km(勾配有)です。

GIFU PREFECTURAL MUSEUM 岐阜県博物館

501-3941

岐阜県関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)

TEL 0575-28-3111(代) FAX 0575-28-3110

<http://www.gifu-kenpaku.jp/>

新型コロナウイルス感染症の状況によって変更がありますので、ホームページで最新の情報をご確認ください。